

## 朝霞地区訪問看護ステーション第5回連携の会 SWAN カフェ実施報告について

○連携の会の皆様、第5回連携の会 SWAN カフェについて実施報告させていただきます。  
9月末ではありましたが、この日は暑い日でした。日時等下記のスケジュールで、予定どうり進めることができました。皆さまご協力ありがとうございました。

1. 日 時 令和5年9月27日（水）16：00～18：30
2. 場 所 朝霞市産業文化センター第1研修室
3. 参加者 朝霞地区訪問看護ステーション連携の会メンバー  
事前参加申し込み 26名/31名 当日参加 21名  
行政関係者 2名 その他 3名（添付資料：参加者ご参照してください。）
4. 内 容 「朝霞地区訪問看護ステーションみんなで話そう」  
第1部：基調講演  
講演テーマ：訪問看護における災害対策 - 利用者/家族の自助力の強化 -  
講師：ソフィアメディ訪問看護ステーション災害専門看護師 今野知穂氏  
第2部：グループワーク  
「災害に備えて - 日頃の援助は患者・利用者のセルフケア能力を高める援助につながっているだろうか」  
第3部：交流会
5. 結果 アンケート回答 22名（回答率 104%）参加者 1名回答  
（添付資料：アンケート集計結果ご参照ください。）

あとがき

・朝霞地区訪看連携の会では「感染症・災害時対応協定書」を結び、令和5年5月からようやく始動となりました。コロナ禍の中、連携の会はこれまで zoom でのみの開催でした。その作業は、推進メンバーで何度も協議し、ようやくこぎつけたという大変さがあったと振り返ります。（鈴木代表をはじめ推進メンバーの皆様ほんとうにお疲れ様でした。）

コロナ禍の中ようやく規制も緩和され、協定書も結ばれ、連携の会の皆様と共にホッとしたい（コロナ禍を乗り切った等など）という思いからか、また「皆で会って話したい」という思いからか、鈴木代表からカフェを開催しようという声が上がりました。「交流の促進、情報の共有、課題の抽出」という目的をあげ、SWAN カフェの準備が始まりました。開催にあたりご協力をいただいた皆様には、心より感謝申し上げます。事前申し込みは 83%、当日は 67%（緊急・体調不良の連絡がありました）の出席率となりました。（多忙とは思われましたが、出席率が良く嬉しいことでした。）

基調講演・グループワークは、「災害に備える」という目的で連携の会が発足したこともあり、災害をテーマにしたことは、高評価でした。講演の内容、明日からの実践に活かそうであるという回答は、95%に及んでいました。「定期的に顔の見える会を希望する」という嬉しい声も頂き、推進メンバー一同これからも SWAN カフェをつなげてゆければと考えております。

皆さま今後とも共に、助け、助けられながら連携の会を存続できますよう共に進めていきましょう。どうぞよろしく願い致します。  
（事務局 高田幸代）